



内子座

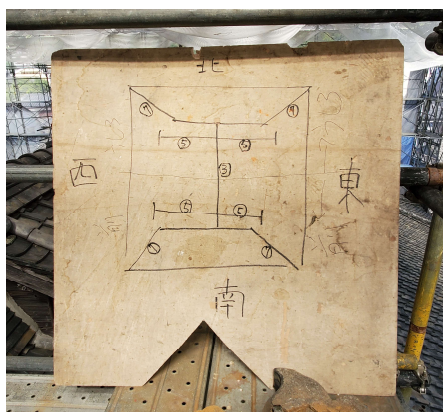


藝於遊



瓦の取外し①

令和7年10月10日、瓦の取外し作業がスタートしました。まずとりかかったのは、太鼓櫓、越屋根、大屋根の棟積み部分の熨斗瓦。合わせて、太鼓櫓と越屋根の鬼瓦も取り外されました。取外し作業と一口に言っても、そこは文化財の取外し作業。瓦一枚一枚に番付けされ、記録を取りながらの作業です。瓦一枚一枚です！屋根から降ろしてきても、どこにあった瓦かわかるよう、図面と照らし合わせながら番付けされていきました。



太鼓櫓の瓦に番付をしている様子(写真左)と番付用のもとなる番号を記した板(写真右)。瓦屋さん達は、この番号によって瓦がどこの場所にあったのかイメージすることができ、元の場所に戻すことができます。すごい！



▲この写真は、大屋根の棟積み熨斗瓦の層出しをしている様子です。一段ずつになるよう取外し、何層に積まれているのか、どのような状態で積まれているかなどを確認してから取外していきます。



▲写真ではわかりづらいのですが、屋根の細部を記録している様子です。瓦がどのような状態であったのか、写真に収めるとともに絵でも表し記録していきます。

外灯の取外し



太鼓櫓に取り付けられていた外灯が取り外されました。復旧の日まで、保存小屋で保管されます。